

中国株ウィークリーレポート

2020/6/29

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	25,015.55	-730.05	-2.84	-3.31	-12.34	28,538.44
NASDAQ	9,757.22	-259.78	-2.59	-1.90	8.74	8,972.60
日経225	22,512.08	252.29	1.13	0.15	-4.84	23,656.62
上海総合	2,979.55	8.93	0.30	0.40	-2.31	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,138.99	17.19	0.42	0.98	1.04	4,096.58
ハンセン	24,549.99	-231.59	-0.93	-0.38	-12.91	28,189.75
中国企業	9,853.18	-83.48	-0.84	-1.22	-11.77	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.4%高と反発、上海総合指数は1.6%高

香港市場は端午節で25日が休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で0.4%安と反落した。週前半は各国の新型コロナウイルス感染の再拡大を嫌気する売りと、経済活動の再開を受けた景気回復への期待による買いが交錯。週後半はハンセン指数が25000ポイント付近で利益確定売りに押された。本土市場は25-26日が端午節で休場のため3日間の取引。上海総合指数は3日間で0.4%高と続伸した。新型コロナの感染第2波への警戒感がくすぶる中、中国政府による景気刺激策への期待などが相場の支えとなった。

今週の展望: 香港市場はもみ合いか、米中対立や感染再拡大に引き続き警戒

香港市場はもみ合いの展開か。引き続き経済活動再開による景気回復期待と新型コロナの感染再拡大への警戒感で神経質な地合いが続く。また、香港国家安全維持法案を巡って米中対立が激化しており、ハンセン指数は節目の25000ポイント付近では上値の重い展開も予想される。なお今週は7月1日が香港特別行政区設立記念日で休場のため4日間の取引となる。一方、端午節の連休明けとなる本土市場は上値の重い展開か。新型コロナの感染第2波や米中対立の激化が引き続き懸念材料として意識されそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	舜宇光学科技(02382)	126.30	10.69
2	石業集団(01093)	14.90	7.04
3	香港証券取引所(00388)	319.40	6.32
4	テセント(00700)	485.00	5.34
5	瑞声科技(02018)	48.85	5.17
6	AIAグループ(01299)	74.10	3.20
7	恒隆地産(00101)	18.28	2.12
8	吉利汽車(00175)	12.64	0.96
9	香港鉄路(00066)	40.35	0.50
10	中国銀行(03988)	2.91	0.00

▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	中国工商銀行(01398)	4.76	-8.11
2	太古A(00019)	42.90	-7.24
3	ベトロファイナ(00857)	2.61	-6.45
4	中国神華能源(01088)	12.06	-6.37
5	中国中信(00267)	7.36	-6.12
6	長江インフラ(01038)	40.60	-5.25
7	シハック(00386)	3.28	-4.37
8	恒基兆業地産(00012)	29.60	-4.36
9	銀河娛樂(00027)	52.00	-4.32
10	九龍倉置業地産(01997)	37.45	-4.22

▼今週の主なイベント

- 6月30日(火)
- 【中国】製造業PMI(6月)
- 7月1日(水)
- 【香港】香港特別行政区設立記念日で休場
- 7月2日(木)
- 【米国】雇用統計(6月)

▼今週の期待材料

- ◆中国の5月の工業企業利益が6%増加、前月の4%減から今年初めて単月でプラス成長を回復
- ◆30日に中国国家統計局が6月の製造業PMIを発表、市場予想を上回る強い内容なら景気回復期待が高まる公算
- ◆端午節明けで29日から上海・深セン市場を経由した香港株取引が再開、本土市場からの資金流入に期待

▼今週の懸念材料

- ◆米国で新型コロナの感染が再拡大、1日当たりの感染者数が過去最多の4万人を突破
- ◆米上院が香港自治法案を全会一致で可決、ポンペオ米国務長官は中国当局者へのビザ制限に言及
- ◆28-30日に中国の全人代常務委員会で香港国家安全維持法案を審議、30日午前にも採決の見通し

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : デジタルチャネル事業強化の方針を発表、22年までに利用者倍増へ
- ☆ 吉利汽車 (00175) : 上海「科创板」へのA株IPO計画、取締役会が承認
- ☆ 中国ガス (00384) : 20年3月決算は12%増益、天然ガス販売量は3%増
- ☆ 三生製薬 (01530) : 子会社の「科创板」上場計画を中国当局が承認
- ☆ 上海復星医薬 (02196) : 中国当局が2種類のがん治療薬の臨床試験を承認
- ◇ テンセント (00700) : マレーシアの動画配信大手アイフリックスの資産を買収
- ◇ 中海油田服務 (02883) : 米ドル建て社債発行で総額8億米ドルを調達
- ★ 希慎興業 (00014) : 20年6月中間決算は不動産評価損計上で赤字転落の見通し
- ★ 六福集団 (00590) : 20年3月決算は42%減益、抗議デモや新型コロナで打撃
- ★ 小米集団 (01810) : 中印の国境衝突で両国関係が悪化、インドでの販売に影響も

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。